

## 地元で働く未来を考える

◎北宇和高校 地元企業説明会



6月23日、北宇和高校2、3年生を対象にした地元企業説明会が開催されました。

地元で働くことの魅力を発信し、将来地元で定着する高校生の増加と、企業等の人材確保を目的に、毎年開催されている本説明会。今回は、町内に事業所のある企業や行政機関など22事業所が参加し、映像や写真で仕事の様子を見せたり、実際に仕事で使う道具を紹介したりしながら、魅力を発信しました。

高校生たちは、地元で働く人の生の声を通して、自身の進路選択について真剣に考えていました。

## 青年団×中学生 くるまぎで若者交流

◎くるまぎ♡ミーティング



6月21日、鬼北町青年団と広見中学生との座談会「くるまぎ♡ミーティング」が、広見中学校体育館で初めて開催されました。

中学3年生約60名と、地域に生きる少し年上の先輩である青年団員9名が参加し、1グループ5名から7名に分かれて、車座になって行われた座談会。団員たちは、自身の学生時代を振り返ったり、鬼北町での仕事に就いた経緯などを話したりしながら、成功体験・失敗談・悩みなどを赤裸々に語り、これから大人の階段を上っていく中学生たちに、アドバイスを伝えていました。

## 自分で選んで読書に親しむ

◎本は友だち 本屋へ行こうプロジェクト



6月30日、三島小学校の児童が明屋書店広見店を訪れ、お気に入りの本を選びました。

町内全ての小中学校を対象に実施される「本屋へ行こうプロジェクト」。自分で選んだ本が学校の図書室にも置かれ、本を通じて友達の輪が広がり、読書への興味・関心が一層高まることを期待して実施されています。

児童たちは、書店に並ぶたくさんの本の中から、じっくり悩んでお気に入りの1冊を選び取り、一人ひとりがレジに向かい、大事そうに持ち帰っていました。

## CTスキャンで得られた新発見を未来へ

◎等妙寺菩薩遊戯坐像 講演会



6月26日、史跡関係講演会「等妙寺菩薩遊戯坐像から発見された木製八角五輪塔と舍利」が近永公民館で行われました。

九州国立博物館での特別展示に先立ち、X線CTスキャンで内部を調査した等妙寺菩薩遊戯坐像。その結果、内剝りが施された像内には、木製の八角五輪塔と、釈迦の遺骨に見立てた仏舍利が納められていることが、新たに分かりました。

参加者たちは、調査を担当した福岡県庁文化振興課の楠井隆志参事による説明に熱心に耳を傾け、秘仏への理解を深めていました。